北海道

宗谷の農業
2025

令和８年３月

北海道宗谷総合振興局

目次

1 宗谷の概況 4
(1)地勢 4
(2)気候 4
(3)土壌 6
(4)産業構造 6
2 宗谷の農業構造 7
(1)宗谷農業のあゆみ 7
(2)耕地面積 7
(3)経営耕地面積規模別農業経営体数 8
(4)年齢階層別基幹的農業従事者数 8
(5)新規就農者数 9
(6)酪農家の経営離脱数 9
3 宗谷の農業経済 10
(1)令和7年の気象概況と生育状況 10
(2)農業算出額 11
(3)農協販売事業取扱高 11
4 宗谷の農業生産 12
(1)酪農 12
① 乳用牛飼養頭数と飼養戸数 12
② 一戸当たり飼養頭数 12
③ 生乳生産量 13
(2)肉牛 13
(3)飼料作物 14
(4)畑作物 14
5 宗谷の農業農村整備事業 15
(1)事業の概要 15
(2)事業予算の推移 15
(3)事業予算の内訳 15
6 宗谷の農業改良普及 16
7 宗谷の家畜衛生 17
(1)防疫業務 17
(2)病性鑑定業務 17
(3)家畜衛生指導業務 17
(4)動物薬事/獣医事業務、畜産物の安全性確保 17
8 宗谷の担い手 18
(1)地域担い手推進会議 18

(2)宗谷管内指導農業士・農業士会 18
(3)宗谷4Hクラブ連絡協議会 18
(4)宗谷農村女性連絡会議(ff宗谷) 18
(5)宗谷酪農セミナー 19
(6)宗谷農業出前授業・酪農ジョブフェア 19
(7)SOYA ルーキーズ☆カレッジ 19
9 宗谷の営農支援組織 20
(1)酪農ヘルパー 20
(2)コントラクター組織 20
(3)TMRセンター 20
10 宗谷の食の取組 21
（1）食育 21
（2）地産地消 21
（3）北のめぐみ愛食レストラン 21
（4）乳加工体験会 21
11 宗谷のグリーンツーリズム 22
（1）ふれあいファーム 22
（2）最北端農村クロスロード交流会 22
12 関係機関等 23
（1）市町村 23
（2）農業委員会 23
（3）農業協同組合 23
（4）農業関係団体 23
（5）国の機関 24
（6）道の機関 24
（7）乳業工場 24

【ご利用にあたって】

平成 22 年（2010 年）４月に幌延町が宗谷に区域変更されたことから、平成 22 年以前の数値には、「宗谷」に「幌延町」の数値を加算して記載しています。

全道における宗谷の位置づけ

区分	宗谷(a)	北海道(b)	a/b (%)	出典元	
				年次	出典
耕地面積	62,332ha	1,141,000ha	5.5%	R５	農林水産省「耕地及び作付面積調」
総農家戸数	763 戸	37,594 戸	2.0%		農林水産省「2020 年世界農林業センサス」
うち販売農家	622 戸	32,232 戸	1.9%		
うち自給的農家	141 戸	5,362 戸	2.6%		
基幹的農業従事者数（個人経営体）	1,421 人	70,643 人	2.0%		
世帯員平均年齢	53.3 歳	58.5 歳	-		
農業産出額	441 億円[1]	13,478 億円	3.3%	R6	農林水産省「市町村別農業産出額（推計）」
耕種	11 億円	5,641 億円	0.2%		
畜種	430 億円	7,837 億円	5.6%		
うち生乳	358 億円	4,341 億円	8.3%		
生乳受託販売数量	290,738 t	3,953,486 t	7.4%	R6	ホクレン
乳用牛飼養頭数	58,213 頭	821,500 頭	7.1%	R6	宗谷：北海道農政部「肉畜等に関する調査」 北海道：農林水産省「畜産統計」 （R6.2.1 現在）
飼養戸数	480 戸	5,170 戸	9.3%		
1 戸当たり	121.3 頭	158.9 頭	-		
肉用牛飼養頭数	6,507 頭	558,600 頭	1.2%		
飼養戸数	91 戸	2,120 戸	0.8%		
1 戸当たり	71.5 頭	263.4 頭	-		

[1] 農業産出額（宗谷）は、市町村別の数値（推計）の合計

1　宗谷の概況

（１）地勢

宗谷総合振興局管内は、北海道の北部にあり、利尻島・礼文島を含めた１市８町１村からなります。西を日本海、東をオホーツク海に面し、南は留萌・上川地方、南東部はオホーツク地方に接しており、北は宗谷海峡を経てサハリンを望みます。

管内北部は、宗谷丘陵を中央に、西部には広大なサロベツ原野、東部にはクッチャロ湖を有する頓別平野が広がります。管内南部は山岳地が広く分布し、河川周辺のみで形成される平坦地がオホーツク海まで続いています。利尻島は、利尻山を中心としたほぼ円形の島で、礼文島は、南北に細長い丘陵状の島です。

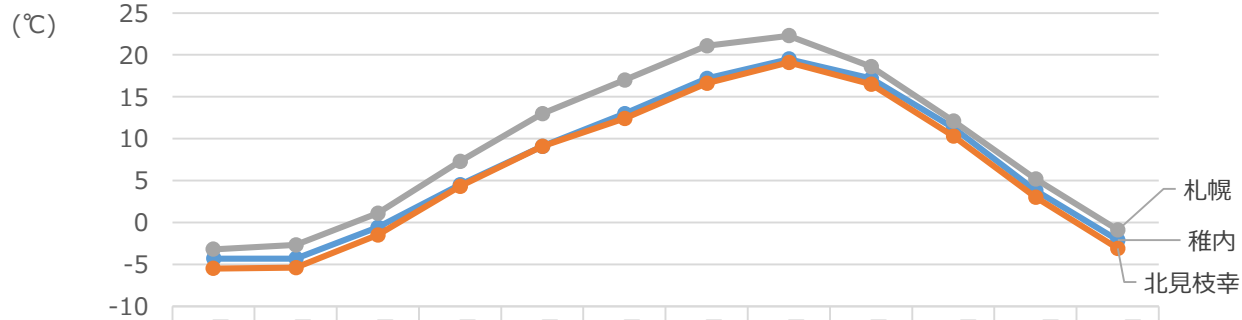
図表１－１　宗谷総合振興局管内の位置

（２）気候

宗谷の気候は、日本海、オホーツク海に面する海洋性の気候と、山岳地帯及び河川流域の内陸性気候に大別されます。日本海側は冬場も比較的温暖で風が強い特徴がある一方、オホーツク海側は季節風や流氷などの影響で、寒暖差が大きくなるなど、地域によって特性が大きく変化します。南部の内陸部は海洋の影響が小さいため、冬はその日の道内一の最低気温を記録することもある寒冷地です。

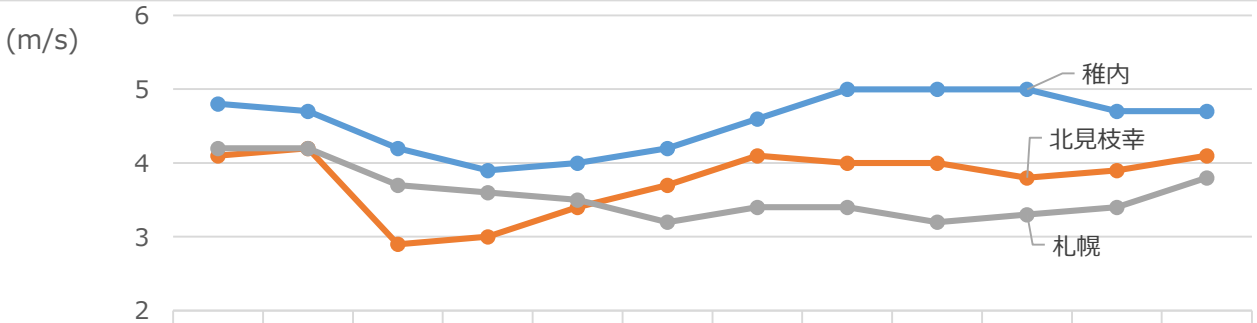
日照時間は道央に比べると少ない傾向にあり、降水量は春から初夏にかけて少なく、夏季以降に多くなる傾向にあります。

図表　1-(2)-1　平均気温の平年値（1991～2020 年）



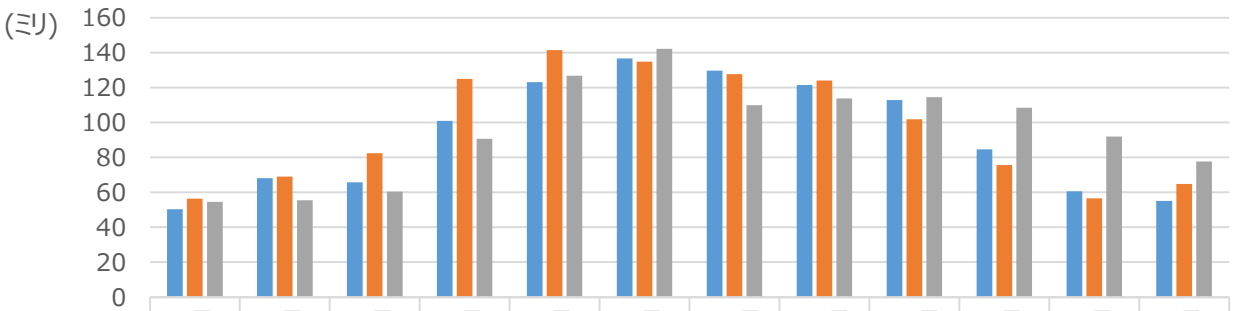
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
稚内	-4.3	-4.3	-0.6	4.5	9.1	13	17.2	19.5	17.2	11.3	3.8	-2.1
北見枝幸	-5.5	-5.4	-1.5	4.3	9.1	12.4	16.6	19.1	16.5	10.3	3	-3.1
札幌	-3.2	-2.7	1.1	7.3	13	17	21.1	22.3	18.6	12.1	5.2	-0.9

図表 1-(2)-2 平均風速の平年値（1991～2020 年）



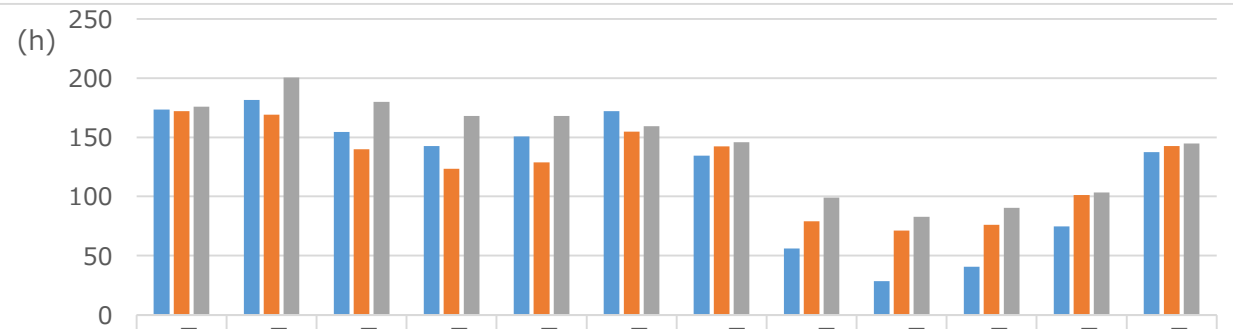
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
稚内	4.8	4.7	4.2	3.9	4	4.2	4.6	5	5	5	4.7	4.7
北見枝幸	4.1	4.2	2.9	3	3.4	3.7	4.1	4	4	3.8	3.9	4.1
札幌	4.2	4.2	3.7	3.6	3.5	3.2	3.4	3.4	3.2	3.3	3.4	3.8

図表 1-(2)-3 平均降水量の平年値（1991～2020 年）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
稚内	50.3	68.1	65.8	100.9	123.1	136.7	129.7	121.4	112.9	84.6	60.6	55.1
北見枝幸	56.4	69.1	82.4	125	141.4	134.9	127.7	124.1	101.8	75.6	56.5	64.8
札幌	54.6	55.5	60.4	90.7	126.8	142.2	109.9	113.8	114.5	108.4	91.9	77.6

図表 1-(2)-4 平均日照の平年値（1991～2020 年）



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
稚内	173.5	181.6	154.6	142.7	150.7	172.1	134.6	55.9	28.4	40.6	74.7	137.5
北見枝幸	172.2	169	140	123.4	128.8	154.8	142.2	78.9	71.2	76	101.2	142.5
札幌	175.8	200.4	180	168	168.1	159.3	145.9	99.1	82.7	90.4	103.5	144.7

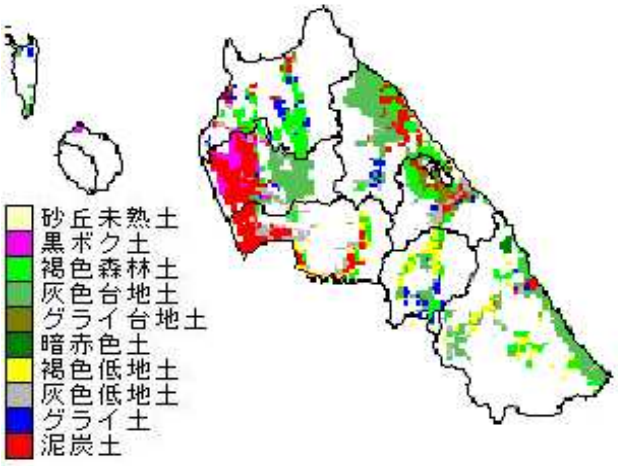
（３）土壌

宗谷の土壌は、豊富町と幌延町の海岸沿いに広がるサロベツ原野をはじめ、河川沿いの低地には泥炭土が広く分布しています。

また、台地には酸性褐色森林土や擬似グライ土、沖積地には灰色及び褐色低地土が分布しています。

泥炭土や重粘土と称される擬似グライ土や灰色台地土は、草地の開発、維持が難しい土壌です。

図表 1-(3) 土壌の分布図



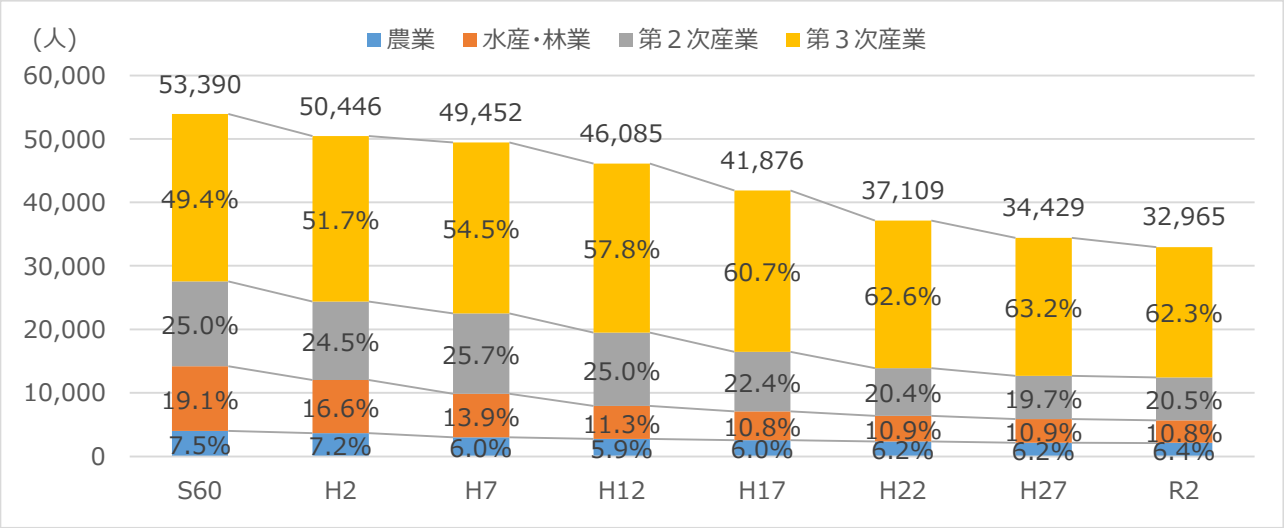
資料：（地独）道総研「北海道の耕地土壌図」

（４）産業構造

管内の第一次産業就業者のうち、農業に従事する人の割合は 6.4%で、漁業や林業に従事する人は 10.8%となっています。

また、建設業や製造業などの第二次産業就業者は 20.5%、小売業やサービス業などの第三次産業就業者は 62.3%となっています。

図表 1-(4) 宗谷管内の就業者数の推移と割合



資料：総務省 国勢調査 就業状態等基本集計

2　宗谷の農業構造

（１）宗谷農業のあゆみ

宗谷地方の開拓は、貞享 2 年（1685 年）に松前藩の直轄地として宗谷場所が設けられて始まりました。古くからアイヌ民族との交易の場や漁場として重要な位置を占めていましたが、明治に入って漁場としての性格が強まっていきました。当初の農業経営は、自給的なものがほとんどでしたが、その後、馬鈴しょや雑穀類が栽培され、でんぷんの生産が行われました。

一方、家畜の飼養は明治 20 年代に稚内に乳牛が導入されたのが始まりで、昭和初期には乳牛と馬鈴しょの混合経営が始まりました。その後、でんぷん価格の暴落を契機に国や道の施策が酪農・畜産の振興に向けられ、昭和 31 年に離島を除く管内全域が集約酪農地域の指定を受け、特に昭和 36 年に制定された農業基本法において国が打ち出した農業構造改革施策により、乳牛の多頭飼育による規模拡大が急速に進められ、酪農専業地帯への道を歩んでいくことになりました。

こうした歩みを経て、現在では、広大な牧草地を活かした大規模草地型酪農を主体とした農業が展開されています。

図表 2(1)-1　昭和 30 年代の馬鈴しょ収穫

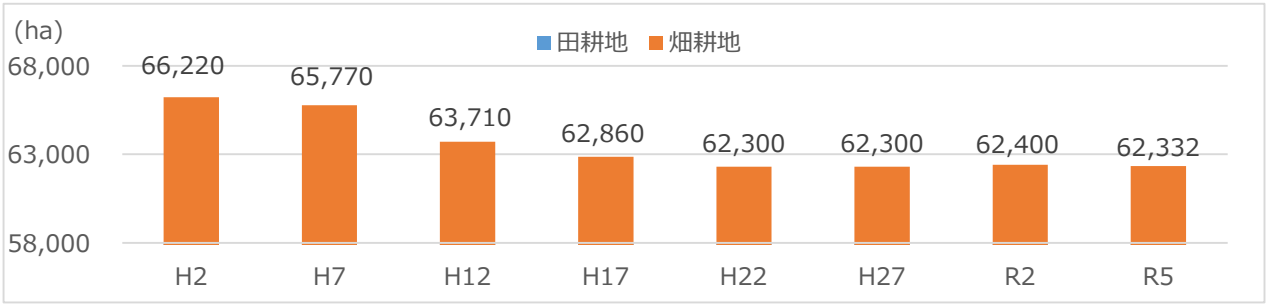
出典：「和魂」（宗谷支庁）

図表 2(1)-2「宗谷酪農発祥之碑」（稚内市中増幌）

（２）耕地面積

令和５年の宗谷管内の総耕地面積は 62,332ha で、近年は横這いで推移しています。水田はなく、畑耕地のほとんどが牧草地として利用されています。

図表 2-(2)　耕地面積の推移（宗谷）

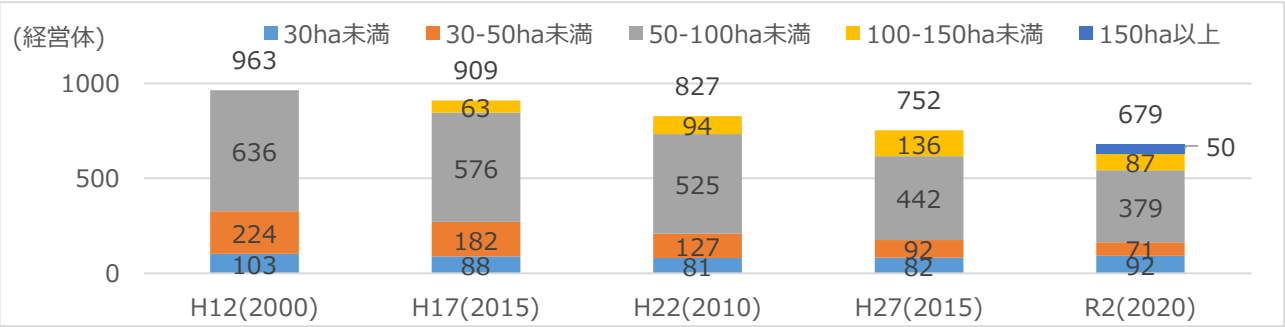


資料：農林水産省「世界農林業センサス」、「農林業センサス」

（３）経営耕地面積規模別農業経営体数

管内の農業経営体数は年々減少しており、令和２年においては 679 経営体となりました。また、100ha 以上を有する経営体が全体の２割に達し、経営の規模拡大が進んでいます。

図表 2-(3) 経営耕地面積規模別農業経営体数の推移（宗谷）



資料：農林水産省「世界農林業センサス」、「農林業センサス」

注１：H12 は販売農家数、H17 以降は農業経営体数

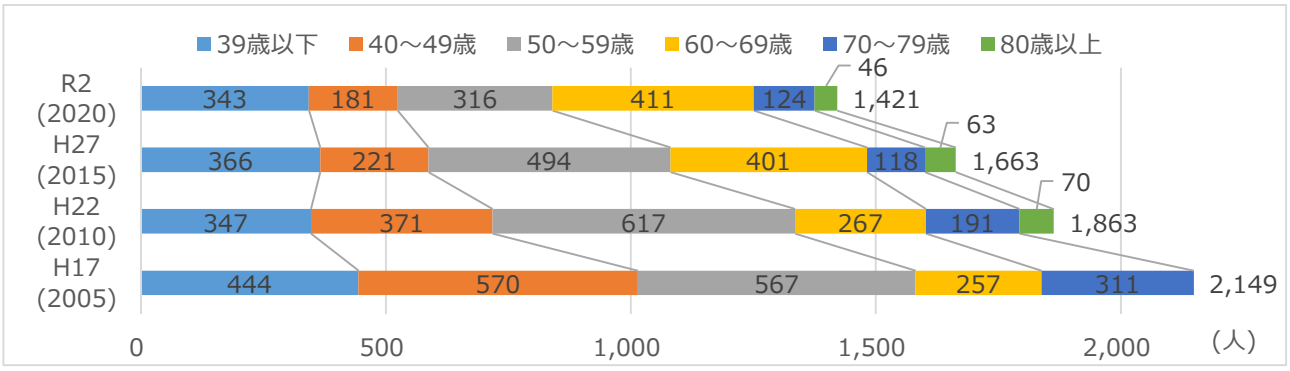
注２：H17 から 100ha 以上、R2 から 150ha 以上の区分が設定

（４）年齢階層別基幹的農業従事者数

管内の年齢階層別基幹的農業従事者のうち 60 歳未満の農業従事者は、平成 17 年では 1,581 名（73.6%）でしたが、令和２年では 840 人（59.1%）と減少し、高齢化が進んでいます。

一方、基幹的農業従事者における世帯員の平均年齢は、全道 58.5 歳に対して宗谷管内 53.3 歳となっており、宗谷管内は道内で最も若い農業従事者で構成されています。

図表 2-(4)-1 年齢階層別基幹的農業従事者の推移（宗谷）



資料：農林水産省「世界農林業センサス」、「農林業センサス」

注　：H17 の 70～79 歳には 80 歳以上を含む

図表 2-(4)-2 農業従事者の平均年齢（基幹的農業従事者・男女計）

区分	H17(2005)	H22(2010)	H27(2015)	R2(2020)
北海道	55.6 歳	56.9 歳	57.4 歳	58.5 歳
宗谷	51.0 歳	52.5 歳	52.9 歳	53.3 歳

資料：農林水産省「農林業センサス」

（５）新規就農者数

令和６年の宗谷管内の新規就農者は、農家出身者以外が就農する新規参入の３人で、農家出身者が農業以外の職業に就業してから就農するＵターンは１人、農家出身者が高校や大学を出てすぐに就農する新規学卒は５人となりました。

図表 2-(5)　宗谷管内の新規就農者数の推移　（戸）

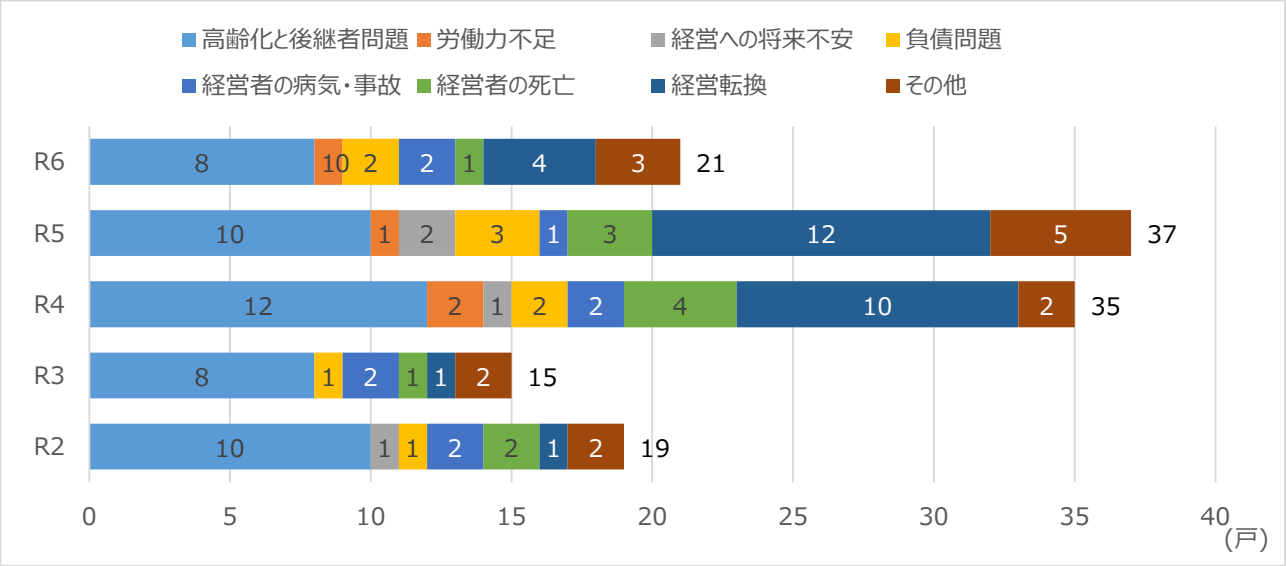
項目	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
新規学卒	7	10	2	5	0	2	3	4	0	5
Ｕターン	6	10	4	0	4	2	2	2	0	1
新規参入	3	6	3	3	10	5	4	5	1	3
合計	16	26	9	8	14	9	9	11	1	9

資料：北海道農政部調べ

（６）酪農家の経営離脱数

令和６年度の宗谷管内の酪農家の経営離脱数は 21 戸となり、経営離脱の主な理由は、高齢化と後継者問題が８戸、経営転換で４戸となっています。

図表 2-(6)　酪農家の経営離脱数の状況（宗谷）



資料：宗谷総合振興局産業振興部農務課調べ

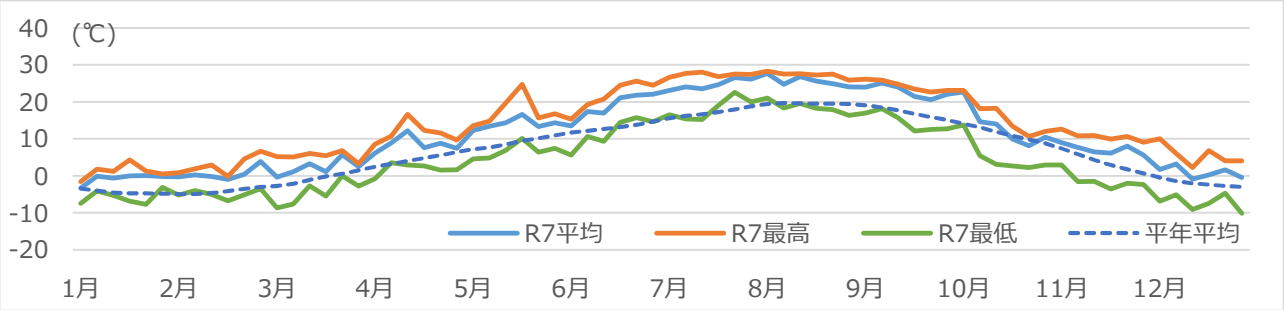
3 宗谷の農業経済

（１）令和７年の気象概況と生育状況

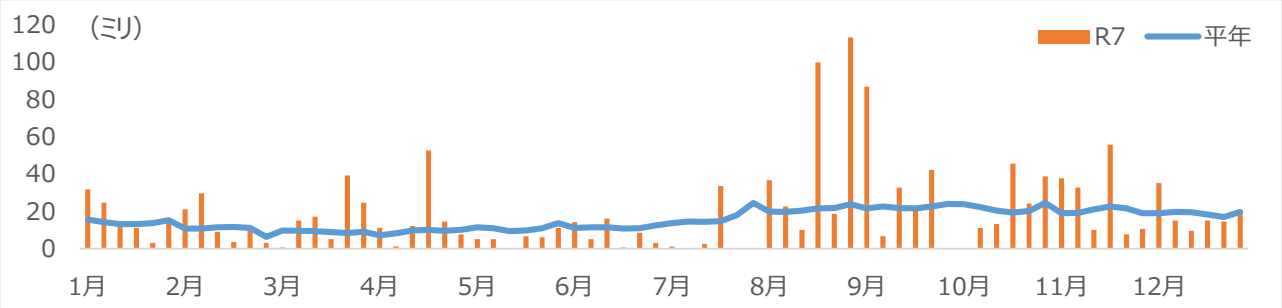
令和７年は３月の降雪、低温、４月の日照不足が影響し萌芽が遅れたものの、６月以降は晴天が続いたため、１番草の収穫作業は、管内平均で９日早く終了しました。

１番草収穫以降、２番草の生育は７月下旬の小雨により緩慢となりました。一方で、８月中旬から下旬の記録的な大雨により、その影響で大型機械が入れない草地が多く、２番草収穫作業は最終的には５日遅れで終了しました。

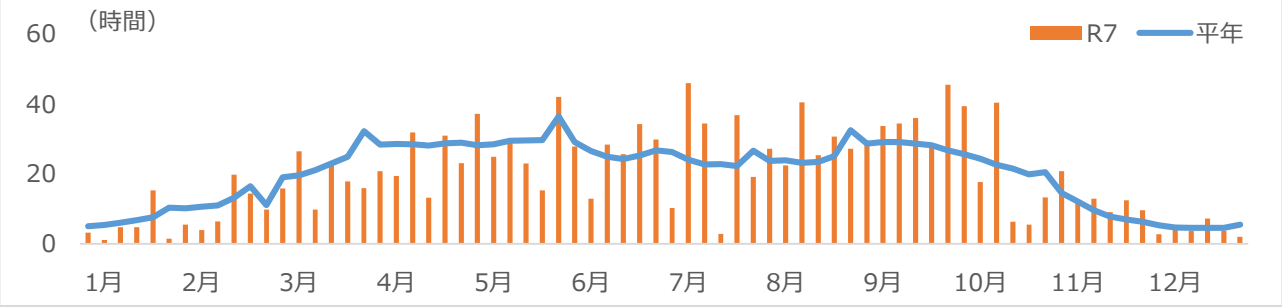
図表 3-(1)-1　令和７年の気温と平年値（稚内・半旬ごと）



図表 3-(1)-2　令和７年の降水量と平年値（稚内・半旬ごと）



図表 3-(1)-3　令和７年の日照と平年値（稚内・半旬ごと）



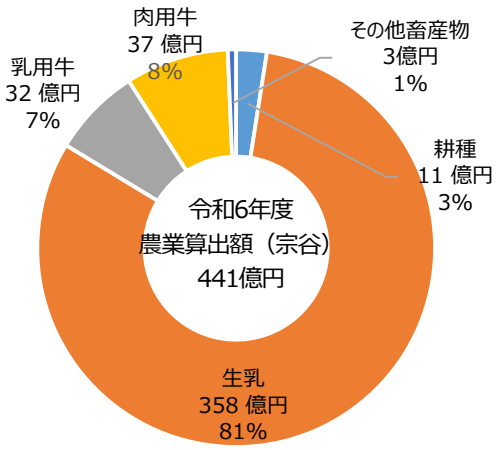
資料：気象庁（過去の気象データ・ダウンロード）

（２）農業算出額

令和５年における管内の農業産出額は 441 億円で、耕種を除く畜産部門が 97%を占めており、そのうち 83%を生乳が占めています。

なお、全道（13,478 億円）に占める宗谷管内の農業産出額の割合は 3.3%となっており、乳用牛については、全道の 8.1%を占めています。

図表 3-(2)-1 令和 6 年度農業算出額（宗谷）



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

（３）農協販売事業取扱高

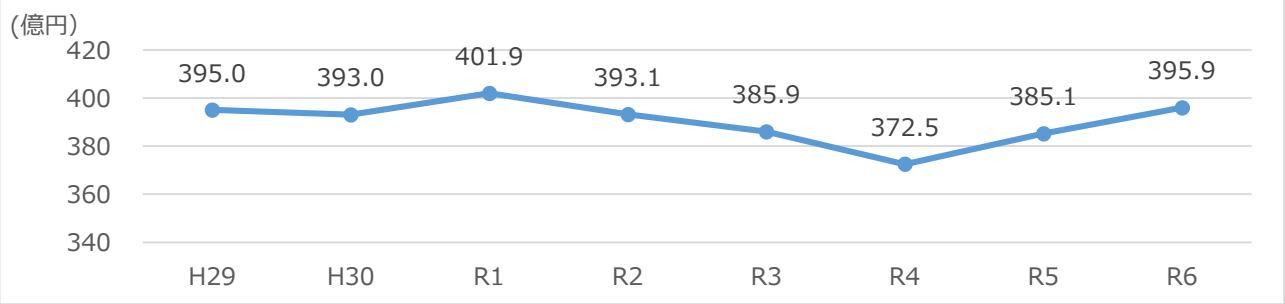
宗谷管内には４つの農業協同組合があり、組合員の経営安定化と生活の向上のため、営農指導、販売、購買、信用、共済などの各種の事業を通じ、地域農業の発展に大きな役割を果たしています。令和 6 事業年度における農協販売事業取扱高の合計は、約 395.9 億円と前年より 10.8 億円増加しました。なお、農協販売事業取扱高の多くは、生乳販売が占めています。

図表 3-(3) 宗谷管内の農業協同組合一覧

名称	管轄区域（**太字下線**は本所）	合併の経過
北宗谷農業協同組合	稚内市、**豊富町**、礼文町、利尻町、利尻富士町	H21.３：沼川、豊富町 R５.３：北宗谷、稚内
東宗谷農業協同組合	猿払村、**浜頓別町**、中頓別町	H12.３：猿払村、浜頓別町 R３.３：東宗谷、中頓別
宗谷南農業協同組合	**枝幸町**	H21.３：歌登、北見枝幸
幌延町農業協同組合	**幌延町**	

資料：宗谷総合振興局産業振興部農務課調べ

図表 3-(3)-2 宗谷管内４農業協同組合の販売事業取扱高合計額の推移



資料：宗谷総合振興局産業振興部農務課調べ

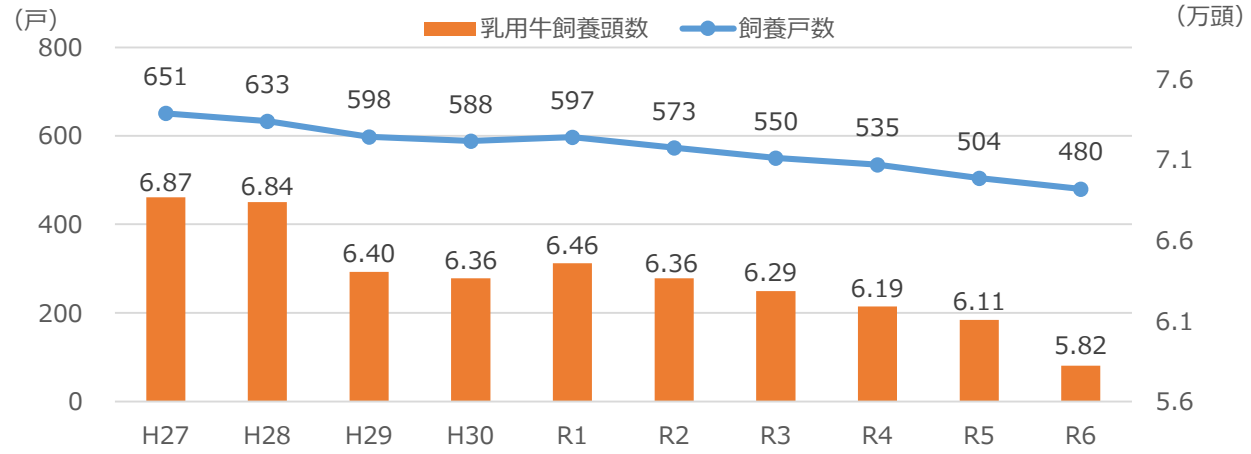
4 宗谷の農業生産

（1）酪農

① 乳用牛飼養頭数と飼養戸数

令和６年の管内における乳用牛飼養頭数は 58,213 頭で、前年より 2,851 頭減少しました。
また、飼養戸数は 480 戸で、前年より 24 戸減少しました。

図表 4-(1)-1 乳用牛の飼養頭数と飼養戸数の推移（宗谷）

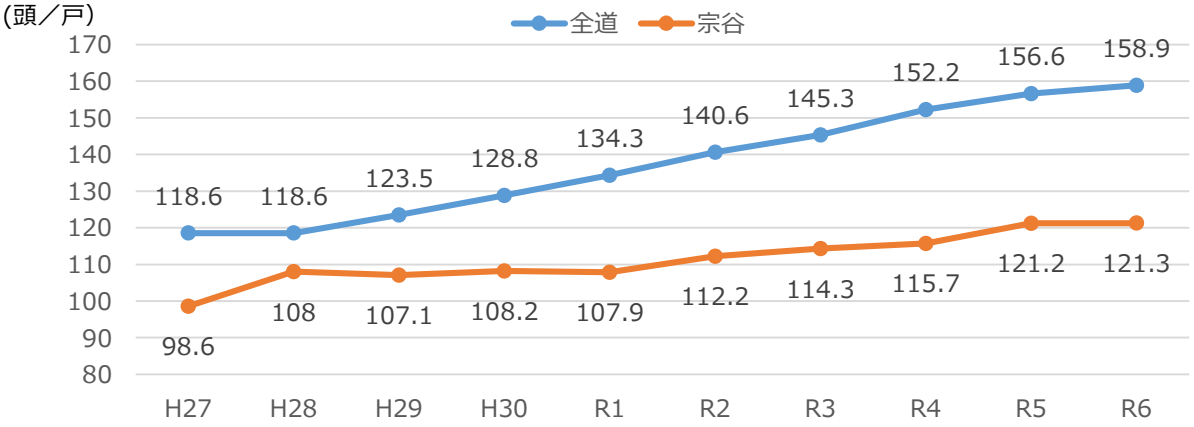


資料：宗谷総合振興局産業振興部農務課調べ（各年２月１日現在）

② 一戸当たり飼養頭数

令和６年の管内における一戸当たり飼養頭数は 121.3 頭で、全道平均の 158.9 頭を下回っています。

図表 4-(1)-2 一戸当たりの飼養頭数の推移



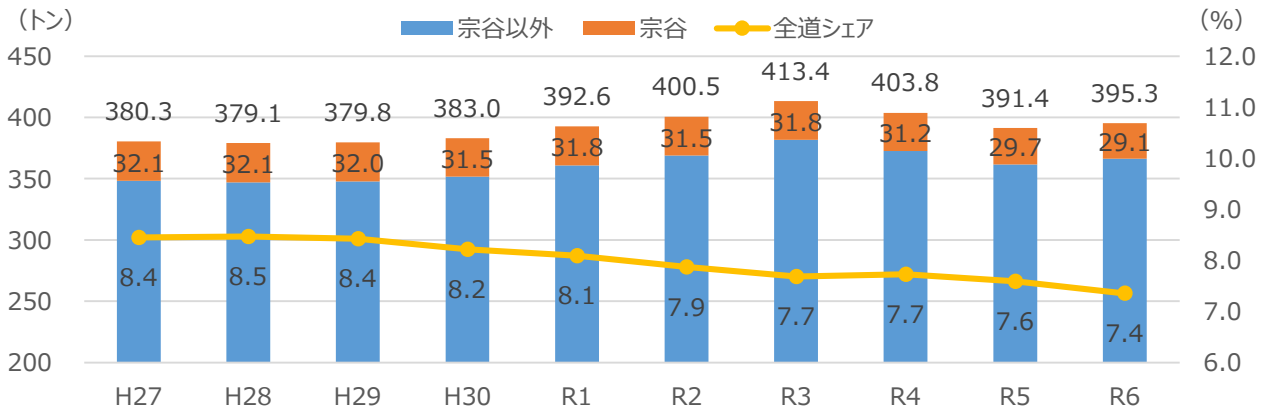
資料：全道－農林水産省「畜産統計調査」（各年２月１日現在）
宗谷－宗谷総合振興局産業振興部農務課調べ（各年２月１日現在）

③　生乳生産量

令和 6 年の生乳生産量は 29 万 738t で、前年より減少しました。全道の生乳受託生産量に占める宗谷のシェアは約 7.4%で、減少傾向が続いています。

なお、管内で生産された生乳の多くは、バター・全粉乳・脱脂粉乳などの加工向けに利用されています。

図表 4-(1)-3　生乳受託生産量の推移



資料：ホクレン調べ

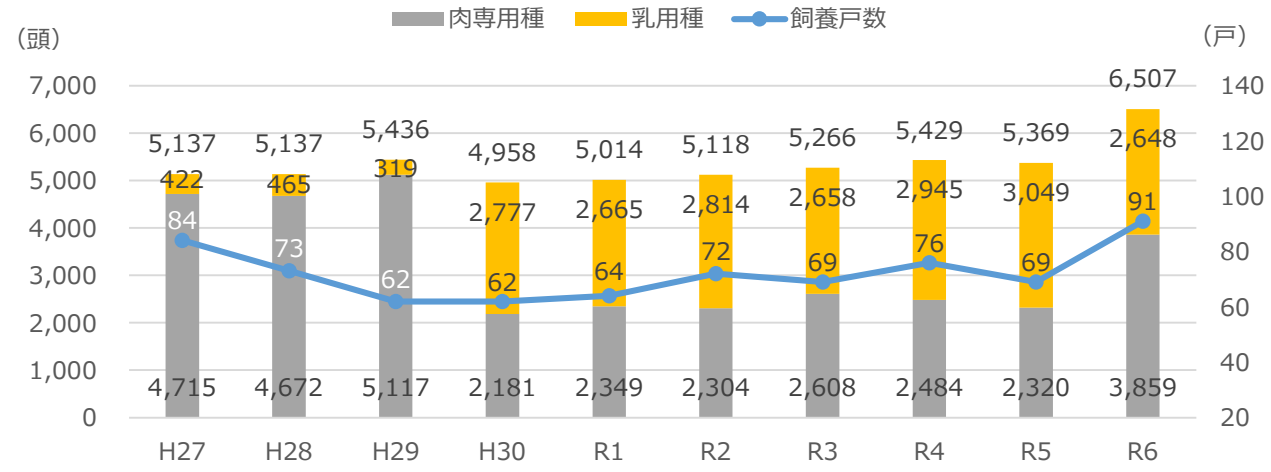
（2）肉牛

令和 6 年の管内における肉用牛の飼養頭数は 6,507 頭で、前年より 1,458 頭増加し、飼養頭数のうち肉専用種の割合が約 59.3%となっています。

また、飼養戸数については、91 戸で前年より 25 戸増加となっています。

一戸当たりの飼養頭数は 71.5 頭で、全道平均の 263.5 頭とは大きな開きがあります。

図表 4-(2)　肉用牛飼養頭数と飼養戸数の推移（宗谷）

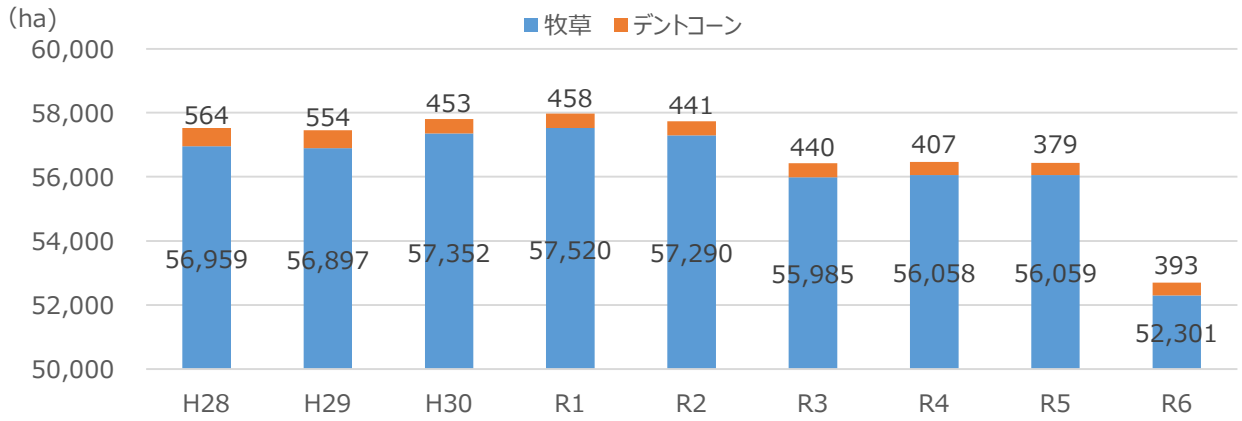


資料：宗谷総合振興局産業振興部農務課調べ（各年２月１日現在）

（３）飼料作物

令和６年産の管内の牧草作付面積は５万 2,301ha で、前年より 3,757ha 減少しました。 デントコーン（青刈とうもろこし）作付面積は 393ha で、前年より 14ha 増加しました。

図表 4-(3) 飼料作物の作付面積の推移（宗谷）



資料：宗谷総合振興局産業振興部農務課調べ

（４）畑作物

管内では、主に飼料用作物が作付けされていますが、一部地域で馬鈴しょやそばの作付けが行われています。

図表 4-(4) 作物の作付面積と収穫量（宗谷）

作物名	作付面積(ha)	収量(kg/10a)	収穫量(トン)	備考
馬鈴しょ	2	1,350	31	R6
そば	66	50	33	R6

資料：農林水産省「作物統計」

5　宗谷の農業農村整備事業

（１）事業の概要

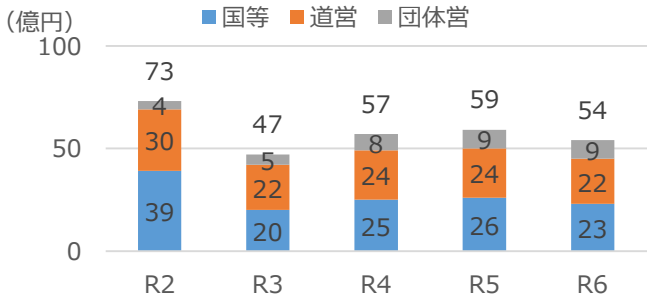
管内の農業農村整備事業は、農業生産基盤の整備による自給飼料の安定的確保や牧草の品質向上、農道や営農用水施設整備による農村環境の改善、また、生態系及び水産資源の保護等を目的とした農業用排水路での魚道整備事業等を推進していることから、「いのちの源の『食』生産」、「多様な担い手と地域」、「豊かな農村環境」を支えることを視点とした計画づくりを支援し、効率的・効果的に事業を展開しています。

（２）事業予算の推移

農業農村整備事業は、事業の実施規模（面積・費用等）により、事業実施主体が国・道・団体（市町村、農協、公社等）に分かれています。

令和６年度予算は、国営事業３地区 23 億円、道営事業 13 地区 22 億円、団体営等 10 地区９億円となっています。

図表 5-(2)　農業農村整備事業予算の推移（宗谷）

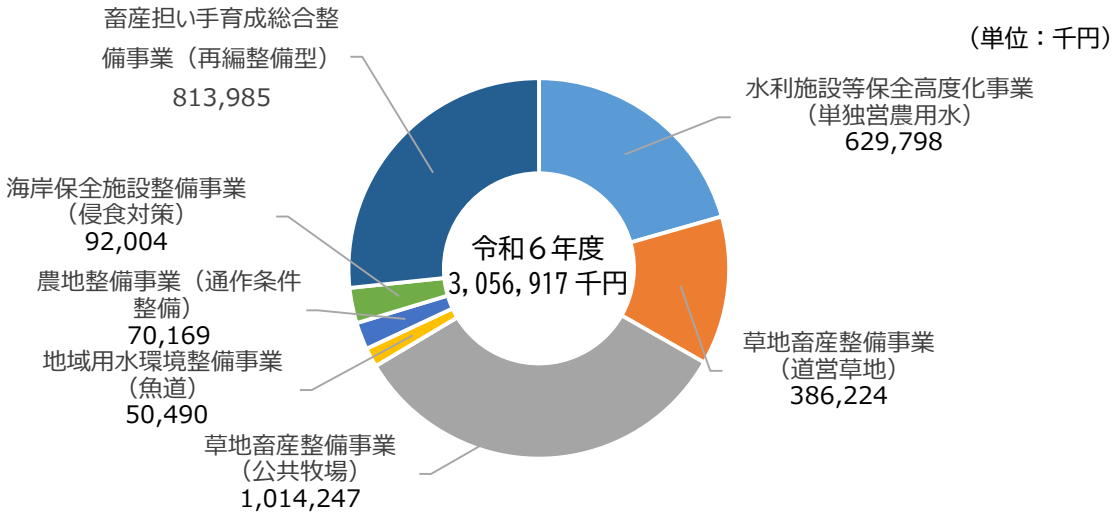


資料：北海道開発局稚内開発建設部・宗谷総合振興局農村振興課調べ
※R2－R6 の国営、道営及び団体営事業は執行額

（３）事業予算の内訳

管内では大規模草地型酪農を展開していることから、粗飼料自給率を高める草地整備事業を主体に、農道の保全を図る農道整備事業、営農や生活環境を改善するための営農用水整備事業のほか、生態系と水産資源の保全を目的とした農業用排水路での魚道整備事業及び自然災害から農地を保全する海岸保全施設整備事業を実施しています。

図表 5-(3)　宗谷管内における農業農村整備事業予算の内訳（道営・公社営）



資料：宗谷総合振興局農務課・農村振興課調べ

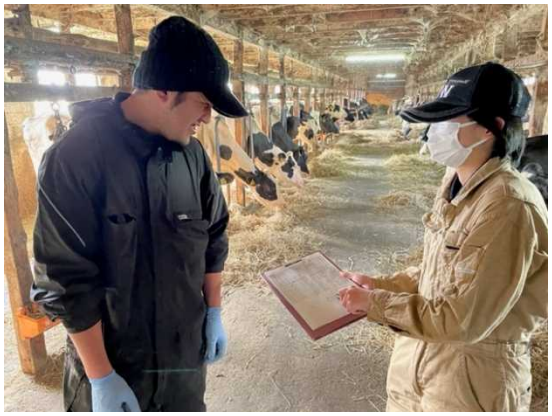
6　宗谷の農業改良普及

農業改良普及センターは、全道 44 カ所（本所 14、支所 30）で、地域に密着した活動等を実施しています。活動計画では、地域の農業技術及び経営の課題を重点化し、地域農業の総合的な課題解決に取り組んでいます。

管内においても、本所（中頓別町）と宗谷北部支所（豊富町）の２ヵ所を拠点に、関係機関連携のもと、宗谷農業の持続的発展と農村振興に向けた普及活動を行っています。

図表 6-(1)-1　農業改良普及センターの担当地域

区分	担当地域
本所　　（中頓別町）	猿払村・浜頓別町・中頓別町・枝幸町、広域担当（管内全域）
宗谷北部支所（豊富町）	稚内市・幌延町・豊富町・礼文町・利尻町・利尻富士町



農家巡回で管理の改善成果を説明（中頓別町）

草地の排水性改善対策を協議（豊富町）

ff 宗谷で講師を招き繁殖勉強会を開催（広域）

放牧とフリーストールを組み合わせた酪農スタイルを協議（広域）

7　宗谷の家畜衛生

宗谷家畜保健衛生所（浜頓別町）では、家畜（牛、馬、豚、家きん、めん羊、山羊、蜜蜂等）を病気から守るために、定期的な衛生検査や病性鑑定業務を実施しています。

また、地域における家畜衛生の向上を担っており、家畜の伝染病予防に関する事務や、家畜疾病の診断、飼養衛生管理の指導などを行っています。

（１）防疫業務

- 家畜伝染予防法に基づく検査を定期的に実施し、家畜の伝染病の発生予防及びまん延防止に努めています。
- 輸入家畜や移入家畜の着地検査を実施して、海外や道外からの家畜の伝染性疾病の侵入防止対策を行っています。
- 家畜飼養農場の定期的な立入を実施して、飼養衛生管理基準の遵守状況の確認及び衛生指導を行っています。
- 口蹄疫や高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）などの急性伝染病が発生した場合に備え、家畜防疫地図システムの整備、緊急防疫資材の備蓄、防疫演習、市町村の自衛防疫活動に対する助言、指導等を行い、危機管理体制を強化しています。

牛の定期検査（採血）の様子

防疫演習（埋却溝試掘）の様子

（２）病性鑑定業務

家畜の伝染性疾病や不明疾病の原因検索のための病性鑑定を実施しています。地域で問題となる疾病が発生した場合は関係機関と連携して早期に防疫対策を講じ、まん延防止を図っています。

（３）家畜衛生指導業務

家畜飼養農場を対象に、生産性を阻害する疾病について調査し、有効な対策の検討及び衛生管理指導を行なっています。

また、家畜の疾病発生状況及び飼養衛生管理に係る情報を、適宜広報やホームページにより関係機関や農場に提供し、注意喚起を行なっています。

病性鑑定業務

（４）動物薬事/獣医事業務、畜産物の安全性確保

動物用医薬品等販売業者への許可関係事務及び立入検査、飼育動物診療施設への立入検査を実施し、業務が法に基づき適正に行なわれているか監視指導しています。

また、動物用医薬品の適正使用の指導を行い、生乳及び畜肉等への抗菌性物質等残留事故発生時には農場等への立入検査を実施し、再発防止指導を行なっています。

8　宗谷の担い手

（１）地域担い手推進会議

宗谷管内の農業関係機関・団体・農業者が集まり、地域の担い手の確保や育成等について議論する「地域担い手推進会議」を開催しています。

（２）宗谷管内指導農業士・農業士会

道では、次代の農業の担い手の育成・指導等を行う優れた農業者や、地域農業の振興等に積極的に協力参加を行う農業者を「北海道指導農業士」、「北海道農業士」として認定しています。

管内では、令和８年３月末現在、指導農業士 25 名、農業士 25 名が認定されており、宗谷農業の発展に寄与することを目的として、宗谷管内指導農業士・農業士会が設置されています。

（３）宗谷４Ｈクラブ連絡協議会

４Ｈクラブ※は、農業者としての資質向上を目的とした青年農業者グループで、管内では６市町村で２つの４Ｈクラブが組織されています。

また、管内の４Ｈクラブで組織される宗谷４Ｈクラブ連絡協議会は、令和７年度現在、36 名の会員で組織し、宗谷青年農業者会議・SOYA ヤングフォーラム・総会等を開催し、若手農業者の資質向上や相互交流に貢献しています。

（４）宗谷農村女性連絡会議（ｆ ｆ宗谷）

宗谷農村女性連絡会議は、宗谷管内の農村女性グループ及び農村女性がネットワークを通じ、幅広い視野と知識を得ながら行動し、楽しく活動を推進させることを目的とし、平成 13 年に発足しました。

令和７年現在、宗谷管内４市町村の４団体と個人が加入する会員数延べ 31 人の組織で、宗谷管内の農村女性の交流・研修の場である ff フォーラムを開催するほか、機関紙の発行などを行っており、会員の相互交流や情報交換に貢献しています。

※「４Ｈ」とは、農業の改良と生活の改善に役立つ腕（Hands）を磨き、科学的に物を考えることのできる頭（Head）の訓練をし、誠実で友情に富む心（Heart）を培い、楽しく暮らし、元気で働くための健康（Health）を増進するという、同クラブの４つの信条を頭文字で総称したもの

（５）宗谷酪農セミナー

新規就農や酪農関連産業の人材確保に向けて、道内外の農業系大学を訪問し、宗谷地域の暮らしや酪農の特徴、酪農を支える関連職業の紹介、若手農業者による事例発表、各市町村等による個別相談会など、管内関係機関と連携した PR 活動を行っています。

令和 7 年度は、酪農学園大学・日本獣医生命科学大学・東京農業大学農学部・日本大学生命資源科学部の学生 154 名が参加し、インターンシップ先に宗谷を選ぶ学生の獲得に繋がっています。

（６）宗谷農業出前授業・酪農ジョブフェア

管内普通高校の 1 年生に、将来の選択肢として酪農関連職業を考えてもらうため、関係機関と連携し、毎年出前授業を開催しています。

令和 7 年度は稚内高校で JA 北宗谷を講師に招き出前授業を実施したほか、稚内大谷高校では新たな試みとして、管内の酪農関係企業・団体 10 者が出展し、具体的な仕事内容や魅力を伝える「酪農ジョブフェア」を開催しました。参加した生徒からは「農業のイメージが変わった」「将来の選択肢が増えた」と好意的な感想が多く寄せられました。

（７）SOYA ルーキーズ☆カレッジ

若手農業者の基礎的技術や知識習得を支援するため、宗谷農業改良普及センターが中心となり、新規就農者や酪農後継者、農業法人従業員、今後就農見込の牧場実習生や酪農ヘルパーなどを対象にした研修会を平成 22 年から開催しています。

若手農業者同士の貴重な交流の場となっているほか、地域の指導農業士・農業士や関係機関が講師になることで、気軽に相談できる関係性の構築にも繋がっています。

9 宗谷の営農支援組織

（１）酪農ヘルパー

酪農ヘルパーは、休日を確保する酪農家に代わり、搾乳、給餌、牛舎の清掃などを行い、酪農家の過重労働の解消などに貢献しています。

図表 7-(1) 酪農ヘルパーの利用日数実績（宗谷）

区分	R２	R３	R４	R５	R６
利用農家戸数（戸）	486	458	431	429	407
総利用日数（日）	9,794	9,438	9,370	8,380	10,052
１戸当たり利用日数（日）	20.15	20.61	21.74	19.53	24.70

資料：一般社団法人酪農ヘルパー全国協会 「酪農ヘルパーの利用実態」

（２）コントラクター組織

コントラクターは農家の営農作業を請け負う組織で、管内では飼料の収穫・草地更新のほか、たい肥・スラリー散布などの作業を酪農家から請け負い、大型機械により効率的に作業を行っており、飼養頭数規模の拡大に伴う酪農家の労働力不足解消に貢献しています。

令和６年度時点で、宗谷管内で７組織が活動しています。

図表 7-(2) コントラクターの状況（宗谷）

区分	R2	R3	R4	R5	R6
コントラクター組織数（組織）	9	8	8	7	7
受託農家戸数（戸）	471	380	388	322	290
受託実面積（ha）	12,895	11,795	10,278	10,861	10,825

資料：北海道農政部「コントラクター実態調査」

（３）ＴＭＲセンター

TMR センターは、サイレージ・とうもろこしなどの飼料・ミネラル等を混ぜ合わせ、牛に必要な栄養素を全て含んだ完全混合飼料（Total Mixed Ration）を調整し、構成員である酪農家に供給する施設です。

管内では、令和６年度時点で 14 組織が活動しており、良質飼料の安定的な確保、草地基盤の効率的活用、酪農家の労働負担の軽減などに大きな役割を果たしています。

図表 7-(3) ＴＭＲセンターの状況（宗谷）

区分	R2	R3	R4	R5	R6
ＴＭＲセンター組織数（組織）	12	13	13	14	14
供給戸数（戸）	100	104	98	95	82
供給頭数（頭）	13,777	13,324	13,539	14,323	13,579

資料：北海道農政部「コントラクター実態調査」

10　宗谷の食の取組

（１）食育

　食育とは、「様々な経験を通じて『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、豊かで健全な食生活を実践することができる人間を育てること」です。

　宗谷総合振興局では、北海道が策定した「北海道食育推進計画（通称：どさんこ食育推進プラン）」に基づき、関係機関・団体や関係部局により構成する「宗谷食育推進協議会」を設置しており、この協議会にて食育に関する情報提供や意見交換などを行い、食育を推進しています。

（２）地産地消

　北海道では、地元でとれた農畜産物を地元で消費する「地産地消」を推進しています。

　宗谷総合振興局では、管内農畜産品のＰＲと消費拡大を目的として、管内の農業者や農畜産品加工業者で組織する「最北端農村クロスロード交流会」との共催で、稚内市の量販店において毎年「宗谷管内農畜産品地産地消フェア」を開催しています。また、北海道米の PR も併せて行っております。

（３）北のめぐみ愛食レストラン

　道では、道内の外食店・宿泊施設のうち、北海道産食材を使用したこだわり（自慢）料理の提供を通じて、北海道産食材の積極的な利用や食材の素晴らしさをお客様に伝える地産地消（愛食運動）に取り組むお店を「北のめぐみ愛食レストラン」として認定しています。

　令和７年６月現在、全道で 298 店、宗谷管内では６店が認定されています。

（４）乳加工体験会

【R7.10.13】豊富町　アイスづくり体験会

　宗谷総合振興局では、宗谷酪農の魅力発信や認知度向上、理解醸成、地産地消の推進を図ることを目的として、地場産の牛乳・乳製品等を使った乳加工体験会を開催しています。

　これまで体験会に参加された皆様からは「乳加工の楽しさを知ることが出来た」「酪農や宗谷地域に興味が湧いた」などの感想が得られ、宗谷地域を知っていただく貴重な場となっている。

11 宗谷のグリーンツーリズム

グリーン・ツーリズムは、農山漁村地域において、自然・文化・人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動です。 農産物直売所で地元農産物を購入したり、農場での収穫体験、加工体験、ファームイン（農家民宿）への宿泊など、地域への多様な関わり方があり、滞在期間についても日帰りから長期宿泊・定期的な宿泊など様々です。

（１）ふれあいファーム

北海道では、都市と農村の交流に意欲的な農業者の農場を対象とした「ふれあいファーム」の登録を推進しています。

「ふれあいファーム」は、多くの人に気軽に農場へ訪問してもらい、農作業体験などを通して農村の魅力を感じてもらうための交流拠点の役割を担っています。全道で 470(令和７年９月現在)の農場が登録されており、体験内容は、農作業体験、手づくり体験、動物とのふれあい体験、果物収穫体験、農産物直売など様々です。宗谷管内では３市町で６の農場が登録されています。

「ふれあいファーム」シンボルプレート

（２）最北端農村クロスロード交流会

最北端農村クロスロード交流会は、宗谷管内の農業者や食品加工販売業者、温泉旅館等の正会員 11 団体と協賛４団体で組織されたグリーン・ツーリズムを推進している団体で、平成 12 年から活動を行っています。

振興局と連携し、会員施設を巡るスタンプラリー「最北端農村ふれあいラリー」や、農畜産加工品等の販売・ＰＲを行う「地産地消フェア」の開催などを行っています。

12 関係機関等

（1）市町村

名称	郵便番号	住所	電話	FAX
稚内市役所	097-8686	稚内市中央３丁目２番１号	0162-23-6161	0162-23-3350
猿払村役場	098-6232	宗谷郡猿払村鬼志別西町 172 番地１	01635-2-3131	01635-2-3812
浜頓別町役場	098-5792	枝幸郡浜頓別町中央南１番地	01634-2-2345	01634-2-4766
中頓別町役場	098-5595	枝幸郡中頓別町字中頓別 172 番地６	01634-6-1111	01634-6-1155
枝幸町役場	098-5892	枝幸郡枝幸町本町 916 番地	0163-62-1234	0163-62-3353
豊富町役場	098-4110	天塩郡豊富町字上サロベツ 2542 番地の２	0162-82-1001	0162-82-2806
礼文町役場	097-1201	礼文郡礼文町大字香深村字トンナイ 558-5	0163-86-1001	0163-86-1007
利尻町役場	097-0401	利尻郡利尻町沓形字緑町 14 番地１	0163-84-2345	0163-84-3553
利尻富士町役場	097-0101	利尻郡利尻富士町鴛泊字富士野６	0163-82-1111	0163-82-1253
幌延町役場	098-3207	天塩郡幌延町宮園町１番地１	01632-5-1111	01632-5-2971

（2）農業委員会

名称	郵便番号	住所	電話	FAX
稚内市農業委員会	097-8686	稚内市中央３丁目２番１号	0162-23-6481	0162-23-7999
猿払村農業委員会	098-6232	宗谷郡猿払村鬼志別西町 172 番地	01635-2-3134	01635-2-3812
浜頓別町農業委員会	098-5792	枝幸郡浜頓別町中央南１番地	01634-2-2373	01634-2-2388
中頓別町農業委員会	098-5595	枝幸郡中頓別町字中頓別 172 番地６	01634-6-1111	01634-6-1155
枝幸町農業委員会	098-5892	枝幸郡枝幸町本町 916 番地	0163-62-1359	0163-62-3353
豊富町農業委員会	098-4110	天塩郡豊富町字上サロベツ 2542 番地の２	0162-73-1346	0162-82-2806
幌延町農業委員会	098-3207	天塩郡幌延町宮園町１番地１	01632-5-1115	01632-5-2971

（3）農業協同組合

	郵便番号	住所	電話	FAX
北宗谷農業協同組合	098-4140	天塩郡豊富町字豊富停車場通８番地	0162-82-2112	0162-82-1226
稚内支所	097-0002	稚内市潮見１丁目５番 25 号	0162-32-4443	0162-32-4434
沼川支所	098-6563	稚内市大字声問村字沼川 2448 番地 1	0162-74-2111	0162-74-2015
東宗谷農業協同組合	098-5723	枝幸郡浜頓別町南３条１丁目 25 番地	01634-2-2229	01634-2-3109
猿払支所	098-6232	宗谷郡猿払村鬼志別西町 51 番地	01635-2-3311	01635-2-3330
中頓別支所	098-5551	枝幸郡中頓別町字中頓別 23 番地の２	01634-6-1231	01634-6-2286
宗谷南農業協同組合	098-5805	枝幸郡枝幸町幸町 8121 番地３	0163-62-1711	0163-62-2228
幌延町農業協同組合	098-3202	天塩郡幌延町２条北１丁目 14 番地	01632-5-1211	01632-5-1214

（4）農業関係団体

名称	郵便番号	住所	電話	FAX
ホクレン農業協同組合連合会稚内支所	097-0001	稚内市末広 4 丁目 2 番地 31 号 宗谷農業会館内	0162-34-2181	0162-34-2100
（公財）北海道農業公社稚内支所	097-0001	稚内市末広 4 丁目 2 番地 31 号 宗谷農業会館内	0162-33-3321	0162-33-7339
（公社）北海道酪農検定検査協会道北事業所	097-0001	稚内市末広 4 丁目 2 番地 31 号 宗谷農業会館内	0162-34-8611	0162-34-8613
北海道農業共済組合道央統括センター宗谷支所	098-4451	天塩郡豊富町字兜沼	0162-73-3355	0162-73-3356
（地独）北海道立総合研究機構農業研究本部酪農試験場天北支場	098-5738	枝幸郡浜頓別町緑ヶ丘 8 丁目 2 番地	01634-2-2111	01634-2-4686
北海道土地改良事業団体連合会宗谷支部	098-4110	天塩郡豊富町字上サロベツ 2542 番地の２ 豊富町農林水産課内	0162-73-1352	0162-82-2806

（５）国の機関

名称	郵便番号	住所	電話	FAX
稚内地方気象台	097-0023	稚内市開運 2 丁目 2 番 1 号 稚内港湾合同庁舎	0162-23-2679	0162-24-5951
北海道開発局稚内開発建設部（農業開発課）	097-8527	稚内市末広 5 丁目 6 番 1 号 稚内地方合同庁舎	0162-33-1170	0162-33-1046
北海道農政事務所旭川地方拠点	078-8506	旭川市宮前 1 条 3 丁目 3 番 15 号 旭川地方合同庁舎	0166-30-9300	0166-30-9305

（６）道の機関

名称	郵便番号	住所	電話	FAX
宗谷総合振興局	097-8558	稚内市末広 4 丁目 2 番 27 号	0162-33-2516	0162-33-2568
農務課			0162-33-2533	0162-33-4531
農村振興課			0162-33-2535	
宗谷農業改良普及センター	098-5551	枝幸郡中頓別町字中頓別 983 番地 11	01634-6-1414	01634-6-2496
宗谷北部支所	098-4110	天塩郡豊富町大通り 1 丁目	0162-82-2119	0162-82-1970
宗谷家畜保健衛生所	098-5738	枝幸郡浜頓別町字緑ヶ丘 8 丁目 3 番地	01634-2-2106	01634-2-4340

（７）乳業工場

名称	郵便番号	住所	電話	FAX
株式会社明治稚内工場	098-6642	稚内市声問 5 丁目 41 番地 1	0162-26-2731	0162-26-2616
よつ葉乳業株式会社宗谷工場	098-5761	枝幸郡浜頓別町智福 2 丁目 4 番地	01634-2-2332	01634-9-2046
株式会社豊富牛乳公社	098-4100	天塩郡豊富町字上サロベツ 1184 番地	0162-82-2576	0162-82-2022
雪印メグミルク株式会社幌延工場	098-3221	天塩郡幌延町栄町 12 番地	01632-5-1131	01632-5-1210